

事務事業名	県消防長会参画事業		所属部局	消防本部		単位番号	13077																								
			所属課室	管理課		課長名	塚原雅樹																								
			所属担当	管理担当		担当者名	清水賀津雄																								
基本政策	基本計画体系	I	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目																				
		06	安全な環境づくり		01	一般	0	9	0	1	0	1	0	5	0	0	7														
政策		08	防災体制の充実	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金																										
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 15 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)				法令根拠																										
事務事業の概要	事業の内容…期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 県内の消防本部がそれぞれの区分において連携を保ち、消防に係る行財政、法政、相互応援、職員福利等の諸問題について研究、情報提供、各種事業を実施し、消防力の充実、強化を推進する。 ・山梨県消防長会 (県内10消防本部) 総会、理事会、所管課長会議、意見発表大会、救助技術大会、消防の広場他				事業費の主な内訳 (22年度) <table border="1"> <tr> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> <tr> <td>その他負担金</td> <td>247</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>247</td> </tr> </table>							項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	その他負担金	247													計	247
	項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)																											
	その他負担金	247																													
		計	247																												

1 現状把握 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	22年度活動実績 H22年度活動予定は事務事業の概要どおり。 23年度活動予定 事務事業の概要どおりであるが、救助技術大会については当本部で実施予定であったが、震災の影響で中止となった。
② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	消防組織 消防職員
③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	消防組織が充実する。 消防活動に必要な知識、技術を習得できる。
④ 上位目的 (どのような結果に結び付けるのか)	職員の消防技術の向上。災害現場での確かつ迅速な活動。 人命救助及び被害の軽減。組織の強化。

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称 事業活動件数 単位 件数
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称 消防職員数 単位 人
⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称 理事会等の回数 単位 回 参画事業の行事回数 単位 回
⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称 単位

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費 内訳	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	317	247	249	247	249	249
	事業費計 (A)		千円	317	247	249	247	249	249
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	60	60	60	60	60	60
		人件費計 (B)	千円	268	268	238	238	238	238
	(A)+(B)		千円	585	515	487	485	487	487
活動指標		アイウ	件数	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0
対象指標		アイウ	人	82.0	82.0	82.0	82.0	82.0	82.0
成果指標		アイウ	回	8.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0
		アイウ	回	17.0	17.0	18.0	18.0	18.0	18.0
上位成果指標		アイ							

(3) この事務事業を取り巻く状況 (対象者・社会状況等) の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	山梨県内の10消防本部が加入しており、当消防本部も峡西消防本部発足当初から加入している。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	県内の消防の広域化や、消防無線のデジタル化について消防長会としても協議を行っている。
③ 事務事業に対して関係者 (市民、事業対象者、議会等) からどんな意見・要望が寄せられているか?	特になし

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☒ 取り組みしている ⇒ [内容↓] ☐ 取り組みしていない ⇒ [理由↓]
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	山梨県消防職員救助技術大会、県民の日 (消防の広場) の警防、救助、救急の講習、展示等に参加
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	県内の消防の広域化や、消防無線のデジタル化について消防長会としての協議

事務事業名	県消防長会参画事業	所属部	消防本部	所属課	管理課
-------	-----------	-----	------	-----	-----

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価 (複数年事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由↓] 消防業務の向上や今後の消防のあり方について各消防本部のトップとして会議を重ねており、上位目的に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由↓] 民間等で行うべき会議等ではない。
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由↓] 各消防本部のトップとして、今後の消防を話し合い充実している為、見直す必要はないと思われる
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒ [理由↓] 10消防本部の統一化等を図っている為、一箇所に集話し会議等を行うので回数に限りがある。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒ [理由と具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒ [理由↓] ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒ [理由と影響の内容↓] 山梨県内の消防業務等の統一が図れない ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒ [理由↓] 山梨県内の消防業務等の統一が図れない
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由↓] ほぼ消防長会の負担金のみである為、削減の余地なし
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由↓] 消防の幹部的会議が多い為、削減余地なし
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由↓] 公平公正

3 評価 (Check2) 担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	県内の消防本部の消防に係る行財政、法政、相互応援、職員福利等の諸問題について研究、情報提供、各種事業を実施し、消防力の充実、強化を推進するために必要な事業である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上 (有効性④の結果) ☒ 現状維持 (全評価項目で適切) ☐ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について																								
①																								
②																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①		成果優先度評価結果	対象外																					
②																								
③		コスト削減優先度評価結果	対象外																					